

7月は村民スポーツレクリエーションから始まり、各種スポーツ行事がいっぱいです。興味のある行事がありましたら、教育委員会社会教育担当（56-2183）までお申込みください。



子ども水泳教室

暑い夏はプールに限る！今年もやります！水泳教室。泳げる子、泳げない子、誰でも参加できます。短期集中教室でお友達と一緒に参加してレベルアップをめざしましょう。

<トマム>

日 時 7月29日（月）、30日（火）
13:30～15:00

場 所 村営トマムプール

参加対象 小学生以上（中学生、成人の方も参加可能）

<中央>

日 時 7月29日（月）、7月30日（火）
13:30～15:00

場 所 村営中央水泳プール

参加対象 小学生



ノルディックウォーキング

今年もノルディックウォーキングを開催します。昨年は占冠村の水源地を目指して歩きましたが、今年のコースはニニウの遊々の森方面です。手付かずの原生林が残る場所を歩く貴重な機会です。気持ちの良い汗を流すためにも参加してみませんか？皆様のたくさんのご参加お待ちしております。

日 時 7月20日（土）9:15～12:00
（受付9:00～）

場 所 占冠村総合センター（占冠村役場）
前集合

※スタート位置までバスで移動します。

コ ー ス 占冠村字ニニウ 遊々の森方面

参加対象 小学生以上（5キロ程度の歩行に耐えられる体力をお持ちの方）

※小学生は保護者同伴でお願いします。

持 ち 物 ノルディックウォーキングのポール（貸し出し可）、ウォーキングに適した靴、飲み物、着替え、雨具（少雨決行）、熊鈴等の熊避け（お持ちの方のみ）



【野生動物対策の状況について】

村内の野生動物に関する情報をお知らせいたします。

■お問い合わせ
林業振興室

電話 56-2174

エゾシカ

5月の駆除捕獲は44頭で、昨年並みに回復しました(図1)。今後7～8月の実績が、年間捕獲数の多寡を分けると予想されます。

季節ごとの捕獲適地に注意しながら、作業を進めてまいります。

初夏はシカの出産期です。春の間は、捕獲される雌ジカのほとんどが身籠っていますが、6月中の出産が多らしく、この時期以降、捕獲個体の胎児は見られなくなっていきます。野生ジカの出産の瞬間はめったに見られませんが、母ジカに伴う元気な子ジカの姿を、まもなく見ることができると思います。

一方の雄ジカは、春に角を落としたあとに新しい角を再生中です。年かさの大きなシカほど早い時期に生えかわり、時間をかけて大きな角を伸ばします。若いシカは遅いものでは6月に角を落とし、短期間で小ぶりの角を生やします。1歳の男の子は、初めてのコブ角が伸びてきます。

図1 月別エゾシカ駆除捕獲数の推移

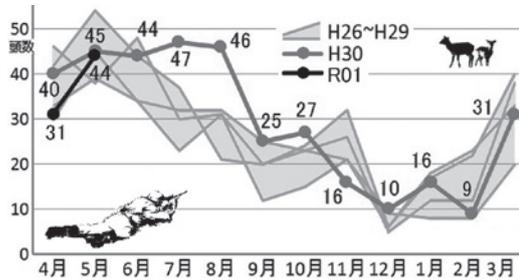
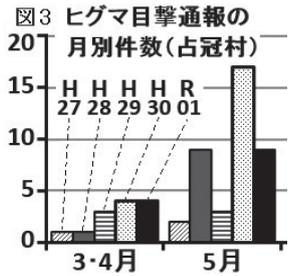


図2 右角が脱落した雄シカ 推定2歳(双珠別6月)

ヒグマ

5月中のヒグマ目撃情報件数は9件で、昨年と比べて平穏でした(図3)。内容も、当たり障りのない場所での一過性のものがほとんどでした。

ただし上トマムの農地周辺での定着的なヒグマの活動は、依然として通行人との不用意な遭遇を危惧させるものです。他の地域でも、例年夏はアリ採食に絡む接近や農業被害が多発しますので、日頃から生息情報の収集に努めつつ、今後に備えてまいります。



村道を走る子グマ兄弟(上トマム5月)

アライグマ

捕獲報償費や一般からの捕獲従事者募集を用意して臨んだ今年の春期捕獲ですが、捕獲実績は未だに1頭と、やや失速気味です。テコ入れのため、さらなる従事者募集と生息情報の収集を進めてまいります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



箱わなに頭を入れるアライグマ。捕獲は失敗。(双珠別5月)

こちら 駐在所です

占冠駐在所 TEL 56-2110

水難防止のために気をつけること

- (1) 波の力で倒されたり、沖に流される危険があります。水辺で遊ぶ子どもの近くから離れないようにしましょう。
- (2) 指定された海水浴場内で遊泳しましょう。遊泳禁止区域では、離岸流や急な深み等多くの危険があります。
- (3) 体調不良時や飲酒後の遊泳は危険です。体調不良時や、お酒を飲んだ後は呼吸が乱れやすいので入水を避けましょう。
- (4) 釣りをするときは、救命胴衣を必ず着用して、安全な場所で行いましょう。高波時の防波堤、流れが速い岸辺、滑りやすい岩場には近寄らないようにしましょう。
- (5) 水上オートバイは遊泳区域に入ってははいけません。安全航行に努め救命胴衣を必ず装着しましょう。

夏季の交通事故防止のポイント

7月は学校や職場の夏休み時期です。観光やレジャーが最盛期を迎え、活動範囲が広がることから、暑さや長距離運転による疲労等が重なって注意力が散漫となります。暑さや疲れによる集中力の低下に十分注意し、眠気を感じたら直ちに休憩を取りましょう。また、長時間運転をする際は、2時間おきに休憩しリフレッシュしましょう。

夏季は、走りやすい路面のためスピードを出してしまいがちです。スピードの出すぎ、無理な追い越しは絶対にやめましょう。

シートベルトはあなたの命綱です。車に乗ったら、全ての座席でシートベルトを締めましょう。